

資料の見方について

○資料1「地域協議の進捗状況等について」

- ・7つの地域ブロックごとの地域協議の進捗状況です。
- ・各地域において、統合検討委員会や統合準備委員会に進んだ組合せがあり、統合に合意が得られた組合せが4つあります。

○資料2「八橋小、寺内小の1歳から12歳までの年齢ごとの児童数（令和3年5月1日現在）」

- ・表の左側が各小学校の現在の小学1年生から6年生までの児童数、そして右側が1歳から6歳までの未就学児の数です。
- ・八橋小を例にすると、表の上段は、令和3年5月1日現在、八橋小に在籍している児童数であり、下段は、八橋小の地区内に実際に居住している児童数となります。
- ・八橋小には、小学6年生59名が在籍しておりますが、実際には、八橋小地区内に57名の児童がいるため、59名/57名で、増減率が1.035となります。率は毎年変わりますが、右側の未就学児の推計値については、直近の小学校1年生の率をかけて算出しています。
- ・同じように、寺内小学校の年齢ごとの児童数を算出しています。

○資料3「八橋小、寺内小の児童数の将来推計」

- ・資料3は、資料2に記載した6年後の2027（令和9）年までの児童数の推移と見込みをグラフ化したものです。
- ・青い折れ線は、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計を基にしています。
- ・赤い折れ線は、資料2に記載している2校の児童数の将来推計を基にしています。

○資料4「学校施設の現状と学校規模シミュレーション」

- ・資料の上段には、八橋小、寺内小の2校の現在の校舎と校地の状況として、校舎や敷地面積のほか、もっとも古い建物の建築年度等を比較できるようにしています。
- ・学校の規模については、資料2の1歳から12歳までの児童数を基に、統合した場合の合計児童数のほか、学年ごとの学級数について、令和4年度から9年度までの推計をしております。仮に、今年度の児童数で想定した場合、2校全体で722人となり、各学年4学級から5学級、合計28学級程度となります。